

βラクタマーゼ阻害薬配合抗菌薬とは？

細菌の中には、抗菌薬から身を守るために「βラクタマーゼ」という酵素を産生する細菌が存在します。

これらは**βラクタマーゼ産生菌**と呼ばれ、「βラクタマーゼ」によってβラクタム系抗菌薬を分解して、抗菌薬の作用を弱めます。

βラクタマーゼ産生菌

- ・黄色ブドウ球菌
- ・インフルエンザ菌
- ・緑膿菌
- ・大腸菌
- ・肺炎桿菌
- ・肺炎球菌 など

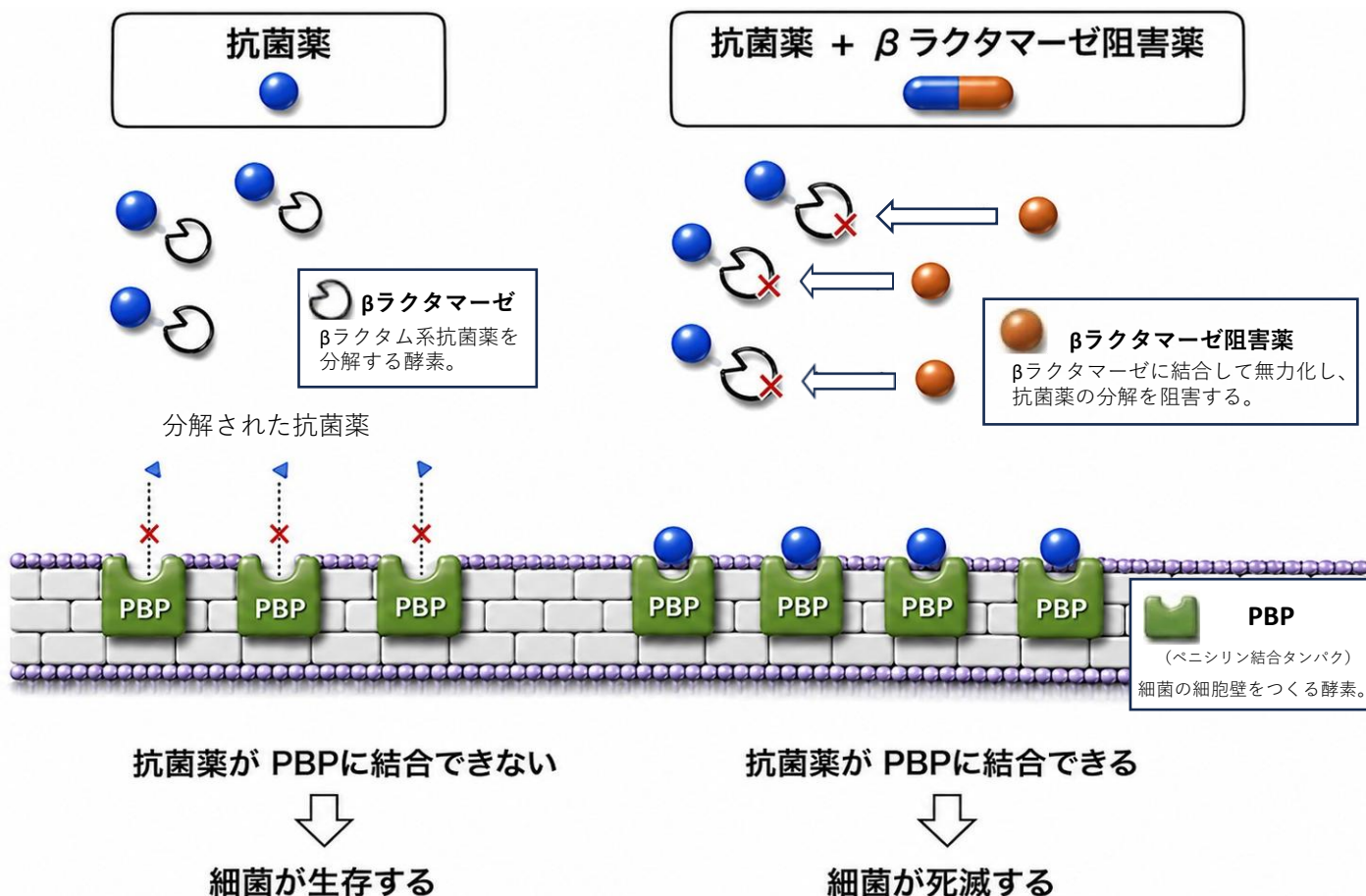
βラクタマーゼ阻害薬配合抗菌薬は、βラクタマーゼ阻害薬がβラクタマーゼによる抗菌薬の分解を阻害するため、幅広い細菌に対して十分な殺菌効果を発揮します。

下の図は、βラクタマーゼ産生菌における通常のβラクタム系抗菌薬とβラクタマーゼ阻害薬配合抗菌薬の作用の違いを模式的に示しています。

通常のβラクタム系抗菌薬は、βラクタマーゼによって分解されるためPBP（ペニシリン結合タンパク）に結合できず、十分な殺菌効果を得られません。

一方、**βラクタマーゼ阻害薬配合抗菌薬**では、分解阻害成分であるβラクタマーゼ阻害薬が抗菌薬の分解を阻害するため、抗菌成分がPBPに結合して細胞壁の合成を阻害し、殺菌効果を示します。

βラクタマーゼ産生菌におけるβラクタム系抗菌薬とβラクタマーゼ阻害薬配合抗菌薬の作用の違い



☑当院で採用されているβラクタマーゼ阻害薬配合抗菌薬

※添付文書に掲載されている適応菌種のみを掲載しています。

商品名	有効成分  ●βラクタム系抗菌薬 ●βラクタマーゼ阻害薬	適応菌種 ○ = 適応あり									
		ブドウ球菌	レンサ球菌	肺炎球菌	腸球菌	淋菌	大腸菌	肺炎桿菌	インフルエンザ菌	緑膿菌	バクテロイデス属
タゾピペ 	●ピペラシリン ●タゾバクタム	○	○	○	○		○	○	○	○	○
ザバクサ 	●セフトロザン ●タゾバクタム		○				○		○	○	
スルバシリン 	●アンピシリン ●スルバクタム	○		○			○		○		
ユナシン 	●アンピシリン ●スルバクタム	○	○	○	○	○	○		○		
オーグメンチン 	●アモキシシリン ●クラバン酸	○				○	○	○	○		○
クラバモックス ※小児用 	●アモキシシリン ●クラバン酸	○		○			○	○	○		○

参考文献

- ・各薬剤のメーカーHP（2026年7月22日閲覧）
- ・薬剤師国家試験対策参考書 改定第13版「青本6 薬理・病態・薬物治療」P443～444

薬剤部実習生：黒瀬怜那
指導薬剤師：岸本真 長ヶ原琢磨